

◆

“ふるさとちば”のための政策推進を◆

滝田としゆき

たきた敏幸県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

T260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

自民党

印西市と栄町合区案提出へ

農林水産常任委員長に異例の抜擢！

千葉県議会随一の論客として注目を集める滝田敏幸県議(印西市選出・3期)は6月定例会一般質問に、現役最多となる22度目の登壇。都心直結線と北総鉄道、国の指定廃棄物問題、印旛沼周辺力ミツキガメ防除対策他の諸問題で質問戦を展開。

また、県条例制定に向けAED普及PT座長として活躍する一方、その政治力が高く評価され県議会農林水産常任委員長に異例の就任。六次産業化や地元農産物PR推進で、森田知事との強力な関係を持つ滝田県議に期待がますます高まっています。

6月定例会県議会一般質問

低いAED使用率 千葉県は4.0%

滝田議員 昨年、AEDの使用率を質問したところ、平成25年における国の使用率は3.6%であり、千葉県での使用率は4.6%の答弁だった。

まだまだ低い。なかなか使用率を向上させるのは難しいと思うが、行政、事業者、県民それぞれの立場で知恵を絞り、力を合わせて普及・啓発に取り組むことで、この使用率の改善を目指すべきだ。そのためには、まず、使用率の現状を把握することが推進の第一歩だと思う。そこでうかがうが、国及び千葉県における最新のAED使用率はどうか。

AED条例制定PT座長として全力



県議会随一の論客として一般質問

県議会の定数検討

D使用率はどうか。防災危機管理部長 消防庁では、AEDの使用率など、全国における救急業務の現状を的確に把握するため、毎年、救急・救助の状況に関する調査を実施しています。

最新の調査結果では、平成26年中における、救急隊員以外の一般の方が救命現場に居合わせた際のAED使用率は、全国平均が約4.1%、本県は、約4.0%となっています。

県としては、各消防本部等に対し、救命講習の受講者を増やし、より多くの方にAEDの使用方法を習得していただくよう、引き続き働きかけてまいります。

たきた敏幸・PROFILE

• 1960年

印西市大森生まれ
大森小、印西中
県立我孫子高校卒

• 1982年

同志社大学卒業

• 1999年

印西市議初当選

• 2003年

印西市議再選

• 2007年

千葉県議初当選

• 2008年

印西市消防団副団長

• 2009年

総合企画水道常任委員長

• 2010年

千葉県ラグビー協会会長

• 2011年

千葉県議再選

• 2013年

総務防災常任委員長

• 2014年

北千葉道路推進議連幹事長

• 2015年

千葉県議3選
千葉自民党政調会副会長

• 2016年

農林水産常任委員長

印西市と栄町の皆様へ

ちば自民党は県議会定数と選挙区割について、印西市と印旛郡栄町の合区案を検討中です。これにより、県内選挙区の逆転区及び飛地が解消し(定数一減:94)、一票の格差も2.79から2.44へと縮小します。

今後、同選挙区となる見込の栄町県民の皆様御意見・御要望にも耳を傾け、道路要望や地域振興、消防・防災、広域行政といった地元課題にもしっかりと取組んで参ります。宜しく御指導の程御願い申し上げます。

千葉県議会議員 滝田敏幸

と考える。そこであらうが、県のシステムで地図情報として閲覧できるAED設置台数は何台か。また、公開している情報について改善した点はあるか。

保健医療担当部長 県では、市町村や消防本部等を通じてAEDの設置情報の提供を求めている。現在、6785施設、7645台のAEDについて「AED設置場所検索システム」での閲覧が可能です。

このシステムでは、AEDの設置施設について、住所、設置場所、台数を掲載しておりますが、本年度から、利用可能な曜日や時間、パッドの種類を追加することとし、掲載情報の充実を図っているところです。

今後とも、県民の皆様に必要な情報を提供するよう努めてまいります。

要望 滝田議員 少しでも優先順位を上げていただき、関係機関に対し、AEDの普及促進を働きかけていただくことを強く要望します。

都心直結線構想

訪日外国人増加に対応

成田空港の飛躍に重要

そこだろうか、成田空港機能強化との関係をどう認識しているのか。

知事 都心直結線は、都心から成田空港へのアクセス向上に資するものであり、空港の利便性向上につながるから、成田空港にとって非常に重要な路線である」と認識しています。

自治体や県経済界などとも連携を図りながら、国や鉄道事業者への要望活動に取り組んでまいります。

東京都と協議を

滝田議員 都心直結線の事業を進めるにあたり、関係自治体である東京都との協議を積極的に進めるべきと思うがどうか。

総合企画部長 都心直結線の整備については、県としても国策で実現するよう要望しているところですが、都内を通る路線であることから、議員御指摘のとおり、東京都との協議は必要であると考えております。

このため、県では都心直結線の早期実現に向け、沿線

協議を行っていくか検討してまいります。

滝田議員 都心直結線が実現すれば、都心から成田空港へのアクセスが改善され、東京都民にとっても利便性が向上する話なので、東京都の理解

だと思っ

そして、最後は森田知事と都知事のトップ同士による政治判断になってくと思うので、実現に向けた検討が進んだ暁には、ぜひ知事の御英断をお願いしたい。

が得られるようあらゆる方面から努力することが必要

れているものです。

国は、千葉市が保管している指定廃棄物の指定が全て解除された場合でも、候補地の再選定は行わないことを明言しており、今後、千葉市に対して、詳細調査の実施に向けた話し合いを続ける意向です。

県としては、県内の指定廃棄物が安全・安心に処理されること、何よりも重要と考えており、当事者です。

北千葉道路印西～成田 全線で工事展開

滝田議員 道路問題について、北千葉道路の印西～成田間の進捗状況はどうか。

県が施行する印西市若萩から成田市北須賀間4.2キロメートルについては、用地の取得が完了し、全線にわたって工事を展開しているところで

ある国に対し、千葉市としてかり向き合せて取り組むよう、引き続き求めてまいります。

滝田議員 国には、自らの処理責任を断固として果たす覚悟をもつて、千葉市として話し合い、県内の指定廃棄物が1日も早く、安全・安心に処理されることを強く望む。県としても、国に対して、働きかけていきたい。

鎌谷本線バイパス 豊年橋、架け替えへ

滝田議員 県道鎌谷本線バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 これまでに、面積ベースで約94%の用地を取得。用地が確保できた区間で、橋梁1橋の工事が既に完了しております。また、盛土工事等を行ってきたところ。

今年度は、印西市区間では、引き続き盛土工事を、栄町区間では、長門川を渡る豊年橋の架け替え工事や、関連工事を実施してまいります。

八千代宗像線バイパス 概ね用地取得終了

滝田議員 県道八千代宗像線バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 印西市域の県道八千代宗像線については、幅員が狭く線形が不良な箇所があることから、地域住民の交通安全と円滑な交通の確保のため、印西市岩戸地先で、3.3キロメートルのバイパス整備を行っています。

これまでに、用地取得が概ね完了したことから、八千代市側の1.3キロメートル区間で集中的に工事を行っており、今年度は、低地区間の軟弱地盤対策に引き続き、盛土工事を実施していく予定です。

発信機取り付け生息調査

滝田議員 印旛沼のカミツキガメ対策について、今年度のカミツキガメの防除事業は、どのように行っていくのか。

環境生活部長 カミツキガメの生息地が、これまで防除事業を行ってきた印旛沼や鹿島川等から、流域内の他の河川や周辺の用水路にも広がっていることが確認されました。

このため、新たに生息が判

明した手線川、桑納川等の河川や、鹿島川の周辺水路等を防除事業の対象地域に加え、「わな」の設置個所を昨年度の約800地点から950地点に増やしました。

滝田議員 生息個体数の推定結果を踏まえ、より抜本的な対策が必要と思うがどうか。

環境生活部長 昨年度、生息個体数の推定調査を

実施したところ、個体数を減少させるためには、これまでの駆除数を大幅に上回る、年間1250頭以上のメスを捕獲する必要があります。ということが分かりました。

このため、今年度は、主にメスの個体に発信器を付け、産卵期の行動、生息場所、移動範囲、冬眠の場所等のデータを収集しているところ

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173



印旛沼で捕獲されたカミツキガメ

印旛沼カミツキガメ